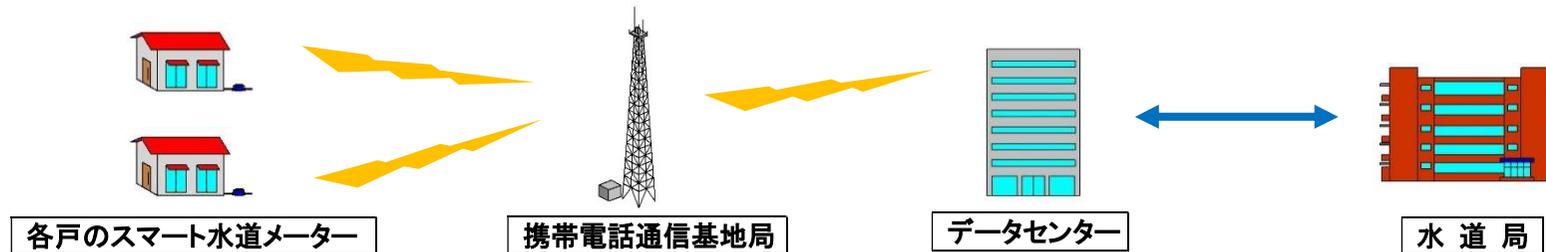


スマート水道メーターの実証実験を行います

水道整備課

1 スマート水道メーターのイメージ

スマート水道メーターのシステムは、各戸に設置されたスマートメーターが携帯電話会社の通信網を使用して基地局経由でデータセンターと通信を行うため、現地に検針に行かなくても、いつでも水道局で検針データを確認することができるというものです。



2 実証実験予定地

富士見町赤城山（大洞地区）の59件

<地区の選定理由>

冬季の降雪量が多く難検針地区であることに加え、ほとんどの場所に電子隔測メーターが使用されており、通信機器の設置のみでスマート化が可能なため選定したものです。

3 実証実験の目的

スマート水道メーターは、降雪量の多い地区やオートロックマンションなどの難検針を解消できることに加え、指針の見間違いや入力ミス等による誤検針を防止できるため、検針業務等の省力化や効率化が期待できます。今回の実証実験は、難検針地区での通信状態の確認やシステムから得られたデータと実際の検針結果の比較による正確性の確認、コストや市民サービス向上への有効性の検証等を目的として行います。

また、空き家などでの宅内漏水、寒波時や災害時の漏水の有無等を早期発見することが可能であるため、維持管理への活用も検討します。

4 導入スケジュール

令和5年12月から令和7年3月まで

【案内図】

